

行財政・医療福祉対策特別委員会 資料2  
 令和7年(2025年)5月27日  
 健康医療福祉部 医療福祉連携室・医療政策課

# 看護人材の確保・定着と人材養成機能について

## ■看護人材を取り巻く現状・課題

**看護職員就業者数**

- 本県の看護職員数は17,478人(R4)で、全体的に増加傾向にあるが、全国の高齢者人口がピークとなる令和22年(2040年)頃には最大5,000人程度の不足が見込まれる。
- このため、毎年度300人程度増やしていく必要があるが、近年は100人程度の増加にとどまっており、さらなる確保・定着に向けた取組の充実が不可欠

看護職員数 (人)

就業場所	H24	R4	増減
病院	9,572	10,430	+858
診療所	2,051	2,606	+555
訪問看護ステーション	492	913	+421
介護分野	1,482	2,258	+776
助産所、保健所、行政等	1,183	1,271	+88
計	14,780	17,478	+2,698

**地域別偏在**

- 看護職員数は全圏域で増加しているが、伸び率(H24→R4)は最も高い湖南が123%、最も低い湖西が107%で差がある。
- 人口10万人あたりで比較すると最も多い湖北圏域(1,490人)と最も少ない湖東圏域(1,056人)で、400人以上の差がある。(県平均 1,240人)

圏域別看護職員数 (人)

	H24	R4	伸び率	人口10万人あたり
大津	3,941	4,646	118%	1,345 ②
湖南	3,549	4,360	123%	1,246 ③
甲賀	1,322	1,601	121%	1,133 ⑤
東近江	2,143	2,493	116%	1,109 ⑥
湖東	1,403	1,626	116%	1,056 ⑦
湖北	1,915	2,211	115%	1,490 ①
湖西	507	541	107%	1,198 ④

**領域別偏在**

- 高齢化の進展により、訪問看護や介護分野における看護ニーズが高まることが見込まれるが、若手の看護職員のうち、20代では約9割、30代では約7割が病院で勤務
- 一方、年齢が上がるにつれて、病院勤務の割合が減少し、診療所や介護分野の勤務者が増加
- 年齢やキャリアによる就業先の偏在で、どのような課題が生じているのか把握し、必要な対策を検討する必要がある。

